

講座詳細

認知症①

2. 認知症とは何か

(1) 認知症の定義

認知症の定義 (WHO)

正常に達した認知機能が、後天的な脳の障害により、持続的に低下し、日常生活や社会生活に支障を及ぼすようになった状態。

2. 認知症の人のケアの視点

(1) 中核症状

- ①物忘れ
- ②時間の見当識障害
- ③場所の見当識障害
- ④人の見当識障害
- ⑤判断力の低下
- ⑥実行機能の障害

根気よく・誠実に
規則正しいリズムを
環境の整備
試すような対応
判断しやすい
分割して伝

講座の内容解説

本講座では、まず認知症についての正しい知識（認知症とは何か、中核症状とBPSD）を学び、認知症の理解を深めます。次に、認知症の人の心理的特徴を学び、認知症の人の気持ちを理解した上で、認知症の人に必要なケア、寄り添うための介護について学んでいきます。

ココがキャリアアップに繋がる！

本研修の目的は、認知症について正しい知識と認識をもち、認知症の人の気持ちを学ぶことで認知症の人に対する理解を深め、尊厳を保ちながら認知症のご利用者様に寄り添うケアを自分で導き出せるようになることです。

■ カテゴリ：職能別（職種転換）

■ 講義タイトルと学習時間

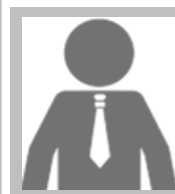
| 講義タイトル | 学習時間(分) |
|----------------|---------|
| ・研修の目的 | 2 |
| ・認知症の定義 | 3 |
| ・認知症は大人だからなる | 3 |
| ・中核症状 | 7 |
| ・BPSD | 9 |
| ・不快感・焦燥感・不安感 | 5 |
| ・被害感・混乱・自発性の低下 | 5 |

■ 学習時間：合計1時間

| 講義タイトル | 学習時間(分) |
|--------------|---------|
| ・中核症状に対して | 6 |
| ・BPSDに対して | 9 |
| ・寄り添う介護を目指して | 6 |
| 確認テスト | 5 |

Point

- 認知症について詳しい知識が得られる
- 寄り添うための介護を学ぶことができる
- 寄り添うケアを自分で導くことができるようになる



担当者様のご意見

認知症について正しい知識と認識を持ち、理解を深めることはとても大切です。

講座詳細

認知症②

1. はじめに

(1) 研修の目的

- ・認知症についての正しい認識を持つことができる
- ・認知症の人のケアが尊厳を保ちながらできる
- ・認知症の人の気持ちに寄り添うケアの必要性が理解できる。



2. アルツハイマー型認知症

認知症の定義 (WHO)

正常に発達した認知機能が、後天的な脳の障害などによって持続的に低下し、日常生活や社会生活に支障をきたすようになった状態。



講座の内容解説

本講座では、まず認知症の原因となる疾患にはどのようなものがあるのか、それぞれの病態・症状・経過について詳しく学びます。次に、認知症の人への対応として、声かけの良い例・悪い例、認知症の人の生活を支えるための環境整備について学びます。

ココがキャリアアップに繋がる！

本研修の目的は、認知症について正しい認識をもち、認知症の人を知り、尊厳を保ちながら、認知症の人の気持ちに寄り添うケアの必要性を理解して自分で考えて実行することができるようになることです。

■ カテゴリ：職能別（職種転換）

■ 講義タイトルと学習時間

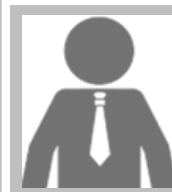
| 講義タイトル | 学習時間(分) |
|-------------|---------|
| ・研修の目的 | 3 |
| アルツハイマー型認知症 | |
| ・病態・症状・経過 | 7 |
| 血管性認知症 | |
| ・病態・症状・経過 | 5 |
| レビー小体型認知症 | |
| ・病態・症状・経過 | 4 |
| 前頭側頭型認知症 | |
| ・病態・症状・経過 | 7 |
| ・原因疾患の理解の対応 | 8 |

■ 学習時間：合計1時間

| 講義タイトル | 学習時間(分) |
|---------------|---------|
| ・良い例、悪い例 | 5 |
| ・認知症の人の環境とは | 7 |
| ・アセスメントとICF | 4 |
| ・認知症の人の生活を支える | 5 |
| 確認テスト | 5 |

Point

- 認知症の原因は何か、どのようなものを学ぶことができる
- 生活を支えるための環境整備について学ぶことができる
- 気持ちに寄り添うケアの必要性が理解できる



担当者様のご意見

どう寄り添えばいいか、自分で考えて実行できるようになればいいですね。

講座詳細

認知症③

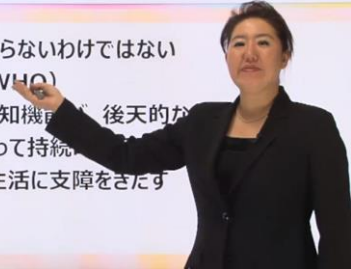
1. 認知症の予防とは

- (1) 危険因子
アルツハイマー型認知症の危険因子
- ・加齢
 - ・家族の病歴
 - ・アポリポたんぱく
 - ・運動、栄養、知的活動



2. できることを探す

- (1) 全てがわからないわけではない
認知症の定義（WHO）
正常に発達した認知機能が、後天的な
脳の障害などによって持続的に低下し、
日常生活や社会生活に支障をきたす
ようになった状態。



講座の内容解説

本講座では、まずは認知症の人にもできることがあること、認知症の人の気持ちをどのように理解して必要なケアを考えることができるかを学んでいきます。次に、認知症の予防とは何か、具体的な予防方法について学び、認知症の予防についての知識を深めます。

ココがキャリアアップに繋がる！

本研修の目的は、認知症について正しい認識をもち、認知症の人の気持ちや予防について幅広い知識を深め、尊厳を保ちながら、認知症の人の気持ちに寄り添うケアを考えることができるようになることです。

■ カテゴリ：職能別（職種転換）

■ 講義タイトルと学習時間

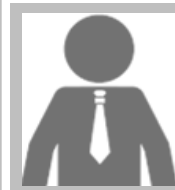
| 講義タイトル | 学習時間(分) |
|-----------------|---------|
| ・研修の目的 | 3 |
| ・全てがわからないわけではない | 6 |
| ・できないこと探しではない | 6 |
| ・何を理解すればよいのか | 6 |
| ・ストレングスとエンパワメント | 7 |
| ・危険因子 | 4 |
| ・脳の活性化 | 6 |

■ 学習時間：合計1時間

| 講義タイトル | 学習時間(分) |
|-------------------|---------|
| ・危険因子のコントロール | 4 |
| ・非薬物療法 | 7 |
| ・介護職員として 確認テスト | 6 |
| | 5 |

Point

- どのようなケアができるか自分で考えられるようになる
- 認知症について正しい知識を身につけられる
- 認知症の具体的な予防法を学ぶことができる



担当者様のご意見

予防についても知識が豊富であれば、業務の幅も広がりますね。